



## 森鷗外・ 夏目漱石住宅

東京都文京区千駄木町に所在していた住宅。医学士・中島襄吉の新居として建てられたが、後に森鷗外、つづいて夏目漱石が借りて住んでいた。この家に住んでいた時期に、夏目漱石が『吾輩は猫である』を刊行したことから、「ネコの家」とも呼ばれる。1887年頃の建造だといわれている。現在は、博物館明治村（愛知県犬山市）に移築されている。

中央にある中廊下を境目として、北側が炊事や食事などの日常的なスペース、南側が客間などのパブリックなスペースになっている。

※括弧内の室名は

『吾輩は猫である』から推測したもの。

